

# 核兵器全面禁止 のアピール

速報 No.5  
2011年3月7日

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 - 5842 - 6031  
FAX：03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com



## 被爆地ヒロシマで署名スタート



広島県原水協は3月6日12時半から14時まで新署名のスタート行動として、平和公園と近くの本通り商店街で集会と署名活動を行いました。

雨のため原爆資料館地下に会場を移して行われたスタート集会には約50人が参加し、被爆者・青年・女性・労働組合代表がそれぞれ決意表明しました。

そして、①新署名を大きく広げる ②被爆

体験と被爆の実相を広げ、核抑止力論を克服する ③日本政府に非核三原則を守るとともに、アメリカの核の傘からの離脱を求める、との決議を採択しました。

引き続き署名活動に移り、県被団協の大越事務局長、原水協の尾野代表理事がマイクで核兵器全面禁止のため、署名を呼びかけました。休日でも人通りが多く、家族連れや中高生が足を止め、署名に応じました。1時間足らずの行動で、239筆が寄せられました。

## 青年たちが原爆ドーム前で署名行動

核兵器なくそう！広島青年実行委員会は、2月27日に実行委員会を開き、ストックホルムアピールやビキニ事件の国民署名、「いま、核兵器の廃絶を」署名などこれまでの署名活動が世界に果たしてきた役割について学習をしました。

参加者からは「一筆一筆は小さいけれど、合わさって世界を大きく動かしてきたことがよく分かった」「これからの署名行動が楽しみだし、頑張りたい!」という感想が出されました。

実行委員会後には、原爆ドーム前でさっそく署名行動。「ニューヨークの国連に届けます」と話すと、声をかけた方の多くが足を止めて署名をしてくれました。中には「署名しても良いですか?」と話しかけてくる人も。この日は6人の参加で113筆の署名が集まり、「核兵器廃絶の願いは多くの人の願いであることも実感できた」と感想が出されました。



今後の実行委員会では、毎回折り鶴宣伝とセットで署名活動に取り組むことや、署名をしてくれた人に少しでも自分の言葉で活動や世界の核兵器廃絶の流れを伝えるための学習と、外国人にも伝えられるように英会話も学んでいく予定です。

## 熊本県原水協

# バラの花を配りながら署名行動

### 3・1 ビキニデーに合わせ



熊本県原水協は3月1日、県内最大の繁華街であるパルコ前で3・1ビキニデーに合わせた署名行動を行いました。

前日に新日本婦人の会が準備した『核兵器なくせ』などのアピールを貼った袋に入れたバラの花約300本を署名に協力してくれた人に配ったところ、40分余りでなくなりほどの盛況ぶり。551人から署名が寄せられました。テレビ局や新聞社から取材があり、翌日の朝刊や、夕方の地元ニュースで報道されました。

行動には被爆者、民医連、労組などから30人が参加しました。